



横浜市都市計画マスタープラン

中区プランの改定について

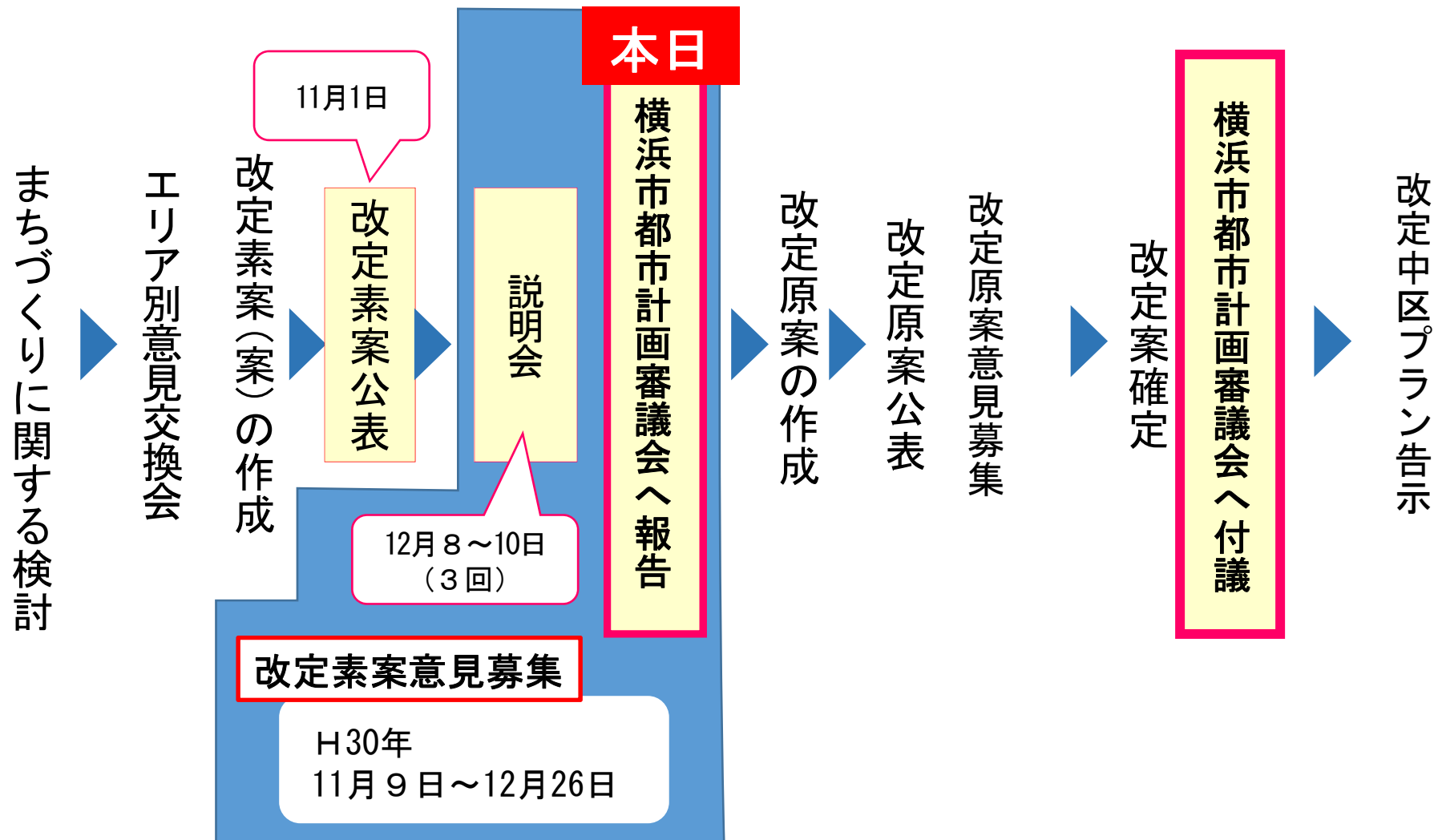
# ■ 中区プラン改定の進め方

28年度

29年度

30年度

31年度



## ■意見交換会等の実施状況

中区オリジナルの取組

### 中区100年夢のまち意見募集 (H29年1月4日～H29年3月31日)

- ・広報よこはま・なか区版及び中区ホームページに掲載し、10年後の理想のまちの姿について広く意見を募集

### エリア別意見交換会 (H29年8月4日～10日 (計4回))

- ・区内を4区分し、各エリアの魅力と課題を共有するための意見交換会を開催

### いただいた主な意見

- ・居留地、洋館など観光資源が多いので、歴史の散歩道を整備するなど、観光客の回遊性を高める取組をしたほうが良い
- ・コミュニティサイクルのベイバイクについて、本牧方面へのポートの設置を進めてほしい
- ・来街者、就業者等が被災した時にどうするか、検討が必要
- ・高齢者に優しいまちにしてほしい
- ・子育てがしやすいまちにしてほしい



エリア別意見交換会の様子

# ■ H17年7月以降の変化（社会経済情勢・政策・事業）

## 《社会経済情勢・災害等》

- ・少子高齢化、核家族化、女性社会進出
- ・高齢単独世帯の増加
- ・外国人人口の増加、グローバル都市・社会
- ・技術革新（ICT、IoT、ロボット等）、新産業、ネット社会
- ・世界規模の金融危機（リーマンショック）、格差・貧困
- ・東日本大震災（災害に対する意識等の変化）
- ・異常気象（ゲリラ豪雨等）による風水害
- ・鉄道5社の相互直通
- ・根岸住宅地区の返還に向けた日米間での共同使用の協議開始の合意

## 《政策・事業》

- ・地域まちづくりの推進
- ・子育て支援・女性活躍支援
- ・歴史を生かしたまちづくり
- ・多文化共生のまちづくり
- ・ガーデンネックレス横浜
- ・クリエイティブシティ・ヨコハマ
- ・中小企業支援・横浜経済活性化
- ・文化芸術創造都市・観光・MICE
- ・健康・スポーツ
- ・SDGs・未来都市

など

など

## ■ H17年7月以降の変化（ハード整備）

### 《ハード整備》

- ・国道357号線（本牧地区）の開通（H28年）
- ・本郷町ガス山公園の整備（H24年）  
⇒防災まちづくりの推進
- ・象の鼻パークの整備（H21年）  
⇒親水空間の充実
- ・棧橋整備  
（大岡川桜棧橋：H19年）  
（横浜日ノ出棧橋：H27年）  
⇒横浜運河パレードなど河川空間の活用
- ・初黄日ノ出町地域防犯拠点の整備  
（H18年）とアートを生かしたまちづくり  
による環境浄化
- ・鉄道駅（石川町・関内等）のバリアフリー化  
（H27年～）



本郷町ガス山公園で遊ぶ子どもの様子



横浜日ノ出棧橋を活用した水上交通社会実験の様子

### ① 生活環境に関する方針・コミュニティに関する方針の追加

高齢化の進行、子育て環境に対するニーズの高まり、外国人人口の増加を踏まえ、独自に分野別方針に追加

### ② ソフト的な要素も含めた指針として整理

都市計画の内容を中心としつつも、地域福祉保健計画等を踏まえ、福祉的な表現を記載したほか、コラムなどで紹介

### ③ 災害に強いまちを目指した方針

東日本大震災後の人々の防災意識の高まりを踏まえ、分野別方針として新たに項目出し



## ◎低地

新田開発・臨海部埋立地

## ◎丘陵地

北西部・中央部の丘陵地

## ◎河川

大岡川・中村川など





## ◎ 多様な用途が混在

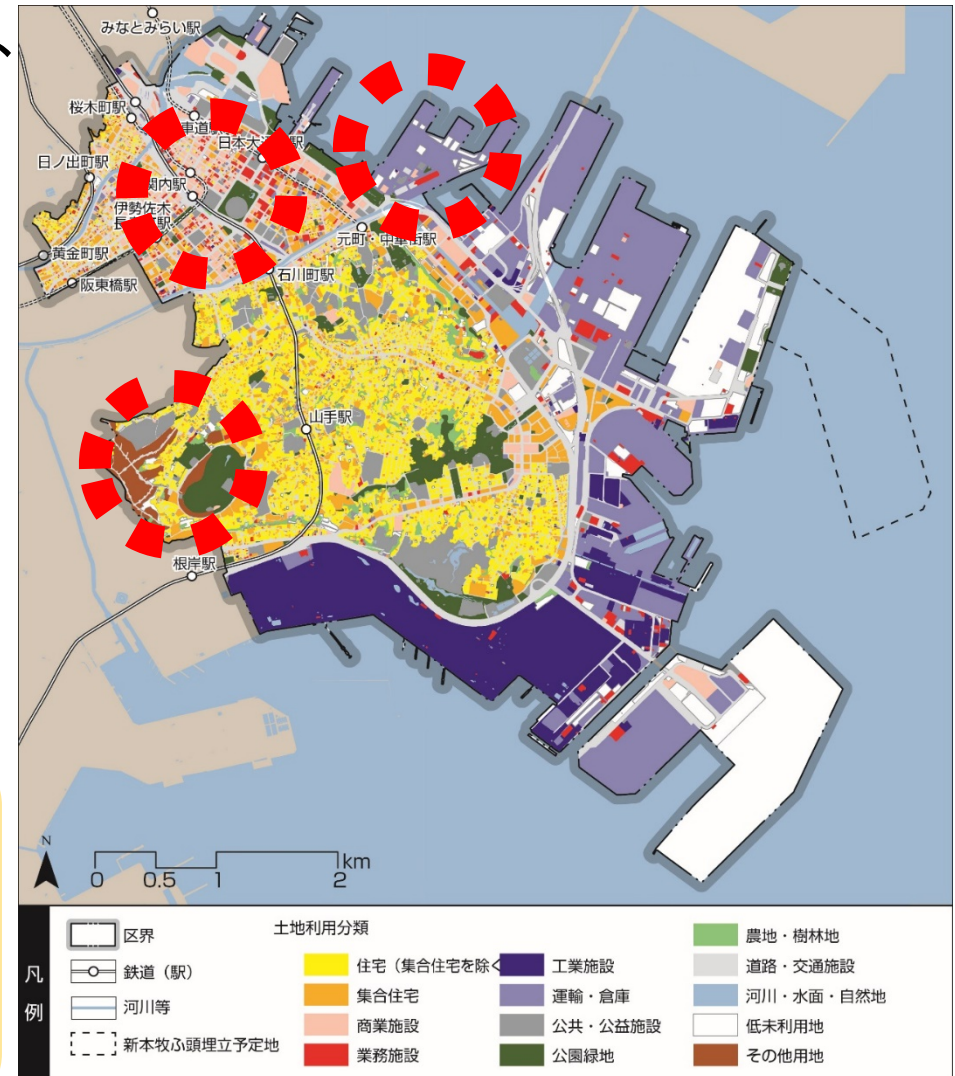
業務・商業、住宅、港湾・流通機能など、多様な用途が混在している。

## ◎ 大規模開発が行われる可能性がある土地が存在

米軍根岸住宅地区、市庁舎の移転に伴う跡地、山下ふ頭など、土地利用転換を含め、大規模な開発の可能性がある。



- ・多様な用途の共存と調和を考慮した計画的な土地利用の推進
- ・大規模開発における地域の発展に資する計画の検討



# ■ 中区の現況と課題（人口・生活環境）改定素案 P. 11～19・46

## ◎ 人口のピークは2030(H42)年

年少人口(15歳未満)減少の一方で、老年人口(65歳以上)の増加が見込まれている。

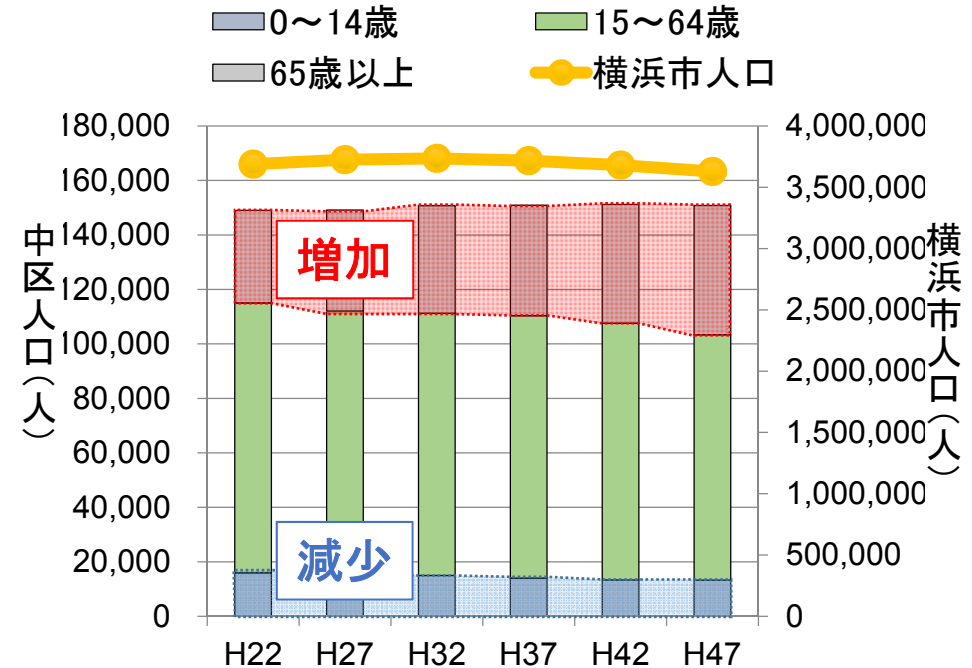
## ◎ 外国人人口の割合が高い

外国人人口の割合が約11%で、市内で第1位であり、全国市町村でも第5位である。

(H29年6月時点)



- ・子育て環境の充実
- ・高齢者・障害者が地域の中で自立して生活を送れる環境づくり
- ・多文化共生に向けた環境づくり



中区の年齢別将来人口の推移と横浜市の将来人口の推移

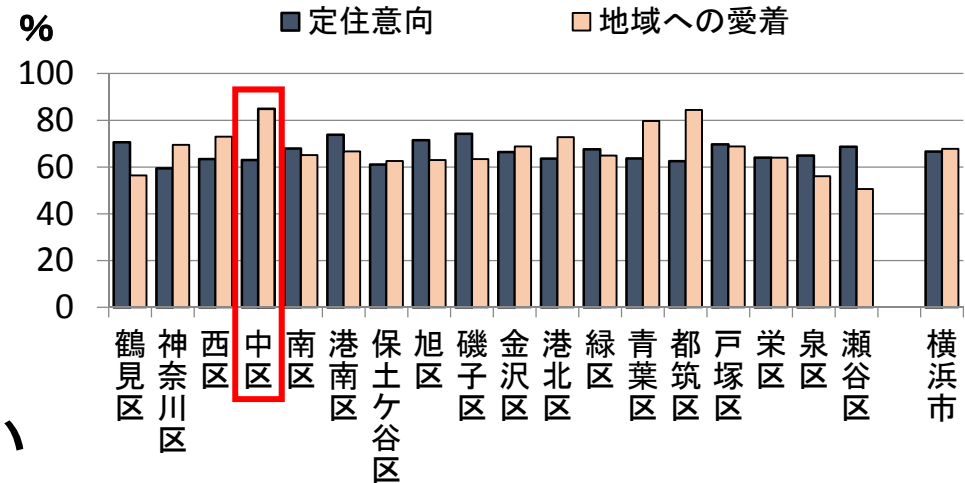
### 外国人比率の高い自治体

順位	市区町村	在留外国人総数	総人口	外国人比率
1	大阪市生野区	27,991	127,629	21.9%
2	大泉町	7,882	41,877	18.8%
3	東京都新宿区	43,354	341,330	12.7%
4	大阪市浪速区	7,989	66,497	12.0%
5	横浜市中区	16,638	148,958	11.2%
6	名古屋市中区	8,882	85,927	10.3%
7	東京都豊島区	28,755	286,644	10.0%
8	神戸市中央区	12,749	139,149	9.2%
9	東京都荒川区	18,703	214,081	8.7%
10	東京都港区	20,846	252,333	8.3%

# ■ 中区の現況と課題（コミュニティ） 改定素案 P. 38～39・47

## ◎ 「定住意向」は低い

「定住意向」は18区で4番目に低い  
(H29年度横浜市市民意識調査)。

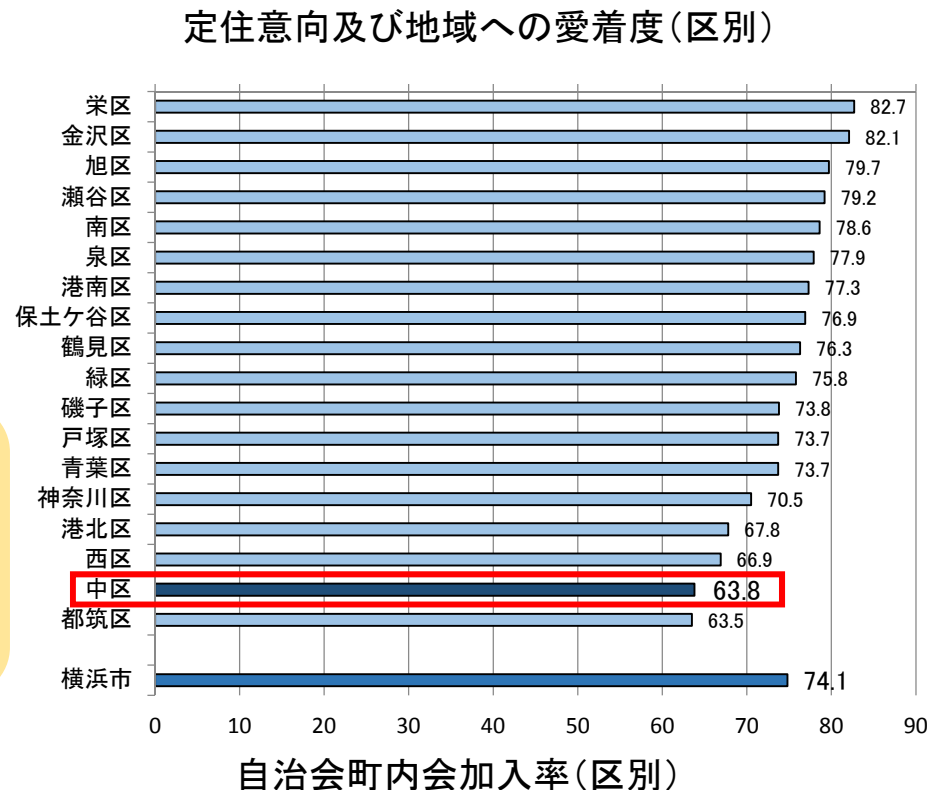


## ◎ 自治会町内会の加入率が低い

自治会町内会の加入率は18区で  
2番目に低い(63.8%)  
(H29時点)。



・地域内の多様な人々が互いに  
協力して支え合うための新たな  
コミュニティづくり



# ■ 中区の現況と課題（防災） 1/2 改定素案 P. 16・23・33～37・47

## ◎ 震災時には多くの建物が焼失する地域がある

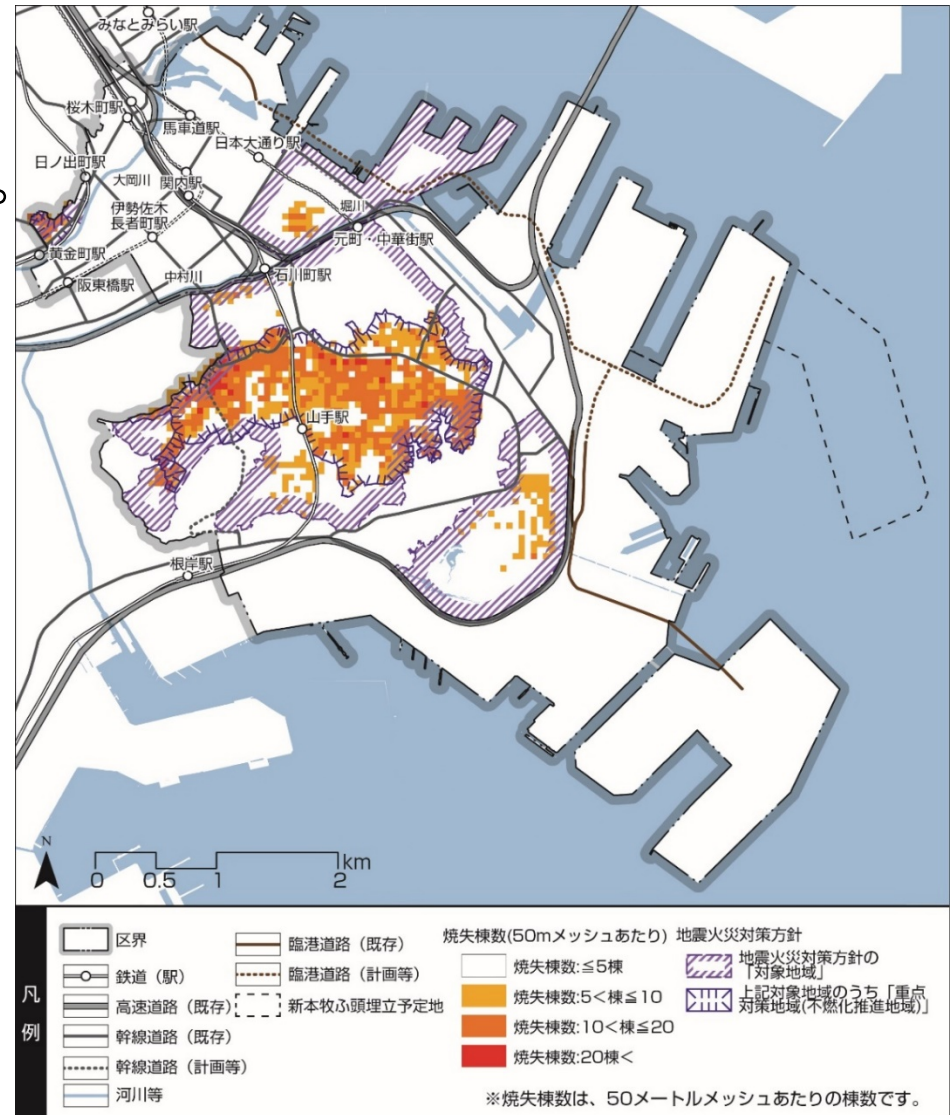
震災時、区の中央部を中心に50メートル四方で20棟超が焼失想定の地域がある。

## ◎ 津波浸水が想定されている

関内・関外の大部分のほか、臨海部を中心に広く津波による浸水が想定されている。

## ◎ 水害・土砂災害の恐れがある

丘陵地は土砂災害や崖の崩壊の恐れがある。



# ■ 中区の現況と課題（防災） 2/2 改定素案 P. 16・23・33～37・47

## ◎ 空き家数が近年増加傾向である

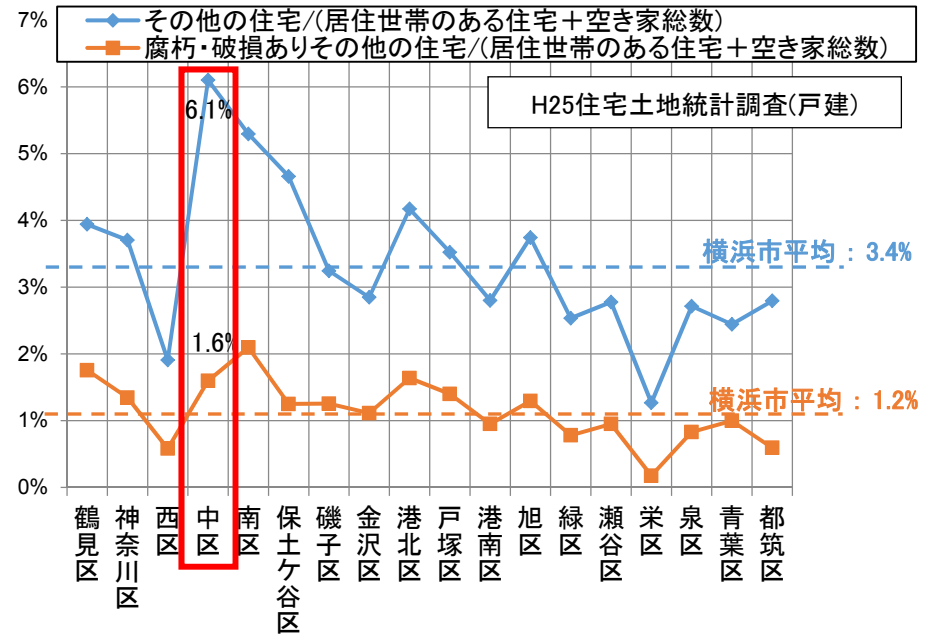
戸建て住宅の総数に対する空き家の割合は18区で最も高い(H25年時点)。

## ◎ 昼夜間人口比率が市内で2番目に高い

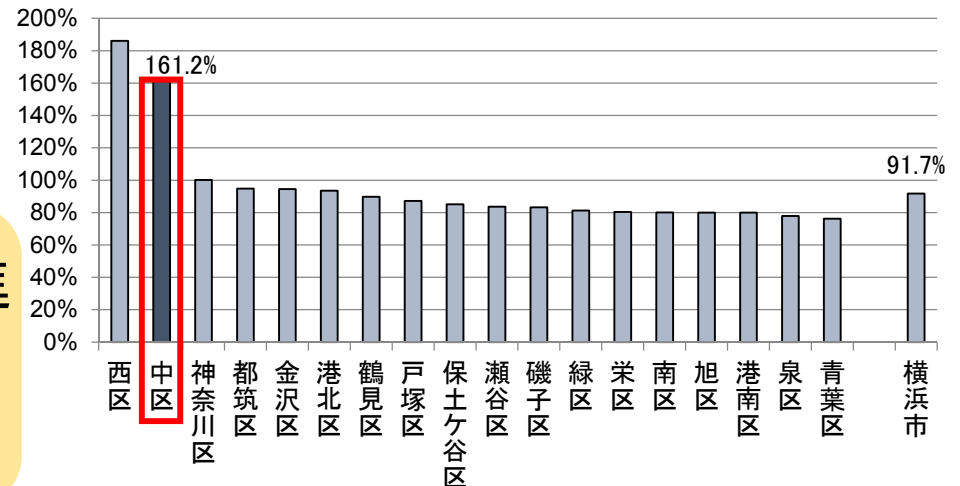
区外からの通勤通学者が多く、昼夜間人口比率は西区に次いで高い(161.2%)(H27年時点)。



- 各地域に応じた災害対策の推進
- 帰宅困難者対策などソフト面の対策の推進



空き家(別荘用・賃貸用・売却用を除く)の割合(区別)



区別昼夜間人口比率(H27)

◎ 広範囲にバス路線が整備されている

鉄道駅から1キロメートル圏の外にある地域でも、バス路線が広範囲に整備されている。

◎ 坂道や階段が多い

区内の丘陵地では、坂道や階段が多い。

◎ 観光資源が広範囲に存在する  
臨海部や山手や三溪園など、観光客が訪れる観光資源が多く存在する。



・回遊性向上やまちのにぎわいづくりに寄与する新たな交通の導入



## ◎ 歴史的・文化的資源が多く存在する

文化財等(50件)のほか、横浜市認定歴史的建造物(59件)が存在する。

## ◎ 横浜大棧橋等を含む「交流拠点ゾーン」では、様々な人が訪れることが想定されている

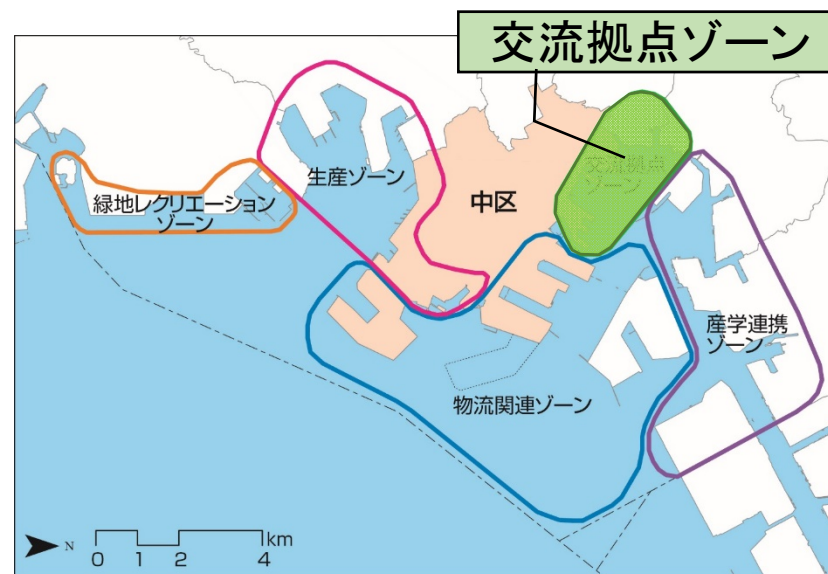
※臨海部は、横浜港港湾計画で「交流拠点」・「物流関連」・「生産」の各ゾーンに位置づけられている。



・観光客の受入れ機能の強化



旧日本綿花横浜支店事務所棟  
(旧関東財務局)



港湾利用ゾーニング





## ◎交通ネットワーク

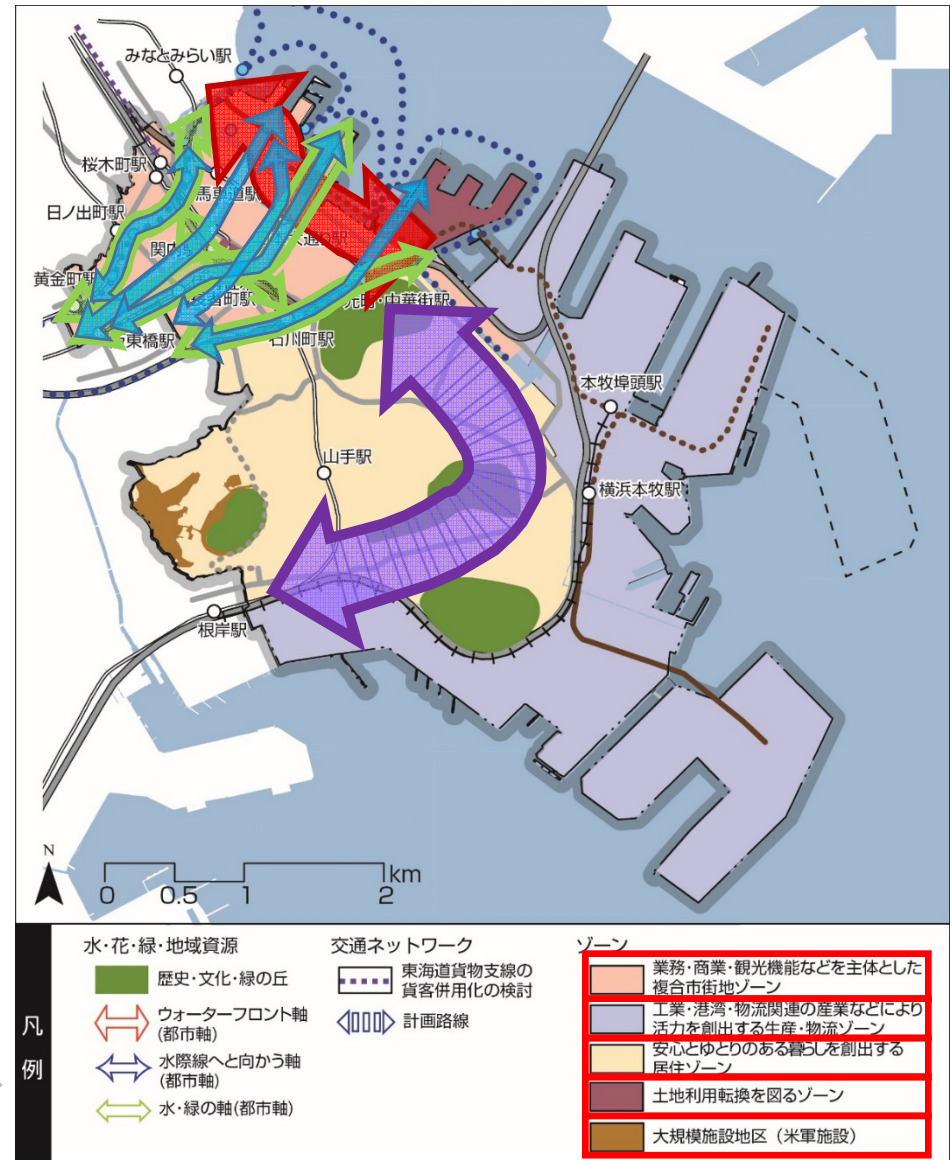
- ・各駅の機能強化
- ・横浜環状鉄道の一部として計画がある元町・中華街～根岸間の事業性の確保に向けた検討
- ・身近な道路の歩行者環境の向上
- ・都心臨海部における新たな交通の導入

## ◎水・花・緑・地域資源

- ・都市軸(水・緑の軸、ウォーターフロント軸、水際線へと向かう軸)における都市環境の充実
- ・地域資源(個性豊かな街並み・商店街、水・花・緑、歴史的資源・文化遺構)を生かした回遊性の向上

## ◎ゾーン

- ・5つの種類(複合市街地、生産・物流、居住、土地利用転換、大規模施設地区(米軍施設))に分類し、計画的に都市づくりを進めます。



# 分野別方針（土地利用）

改定素案 P. 54～56

## 目標

業務・商業等の都心機能や港湾・物流機能を高めるとともに、海・港・歴史的資源と一体となった市街地の多様な魅力を区民も来街者も満喫できるまち

## 住居

- ◎低層住居系土地利用
- ◎中層住居系土地利用
- 良好な環境と生活利便の維持・向上

## 商業

- ◎沿道市街地系土地利用
- ◎都心業務・商業系土地利用
- 業務・商業機能と居住機能の共存と調和

## 港湾

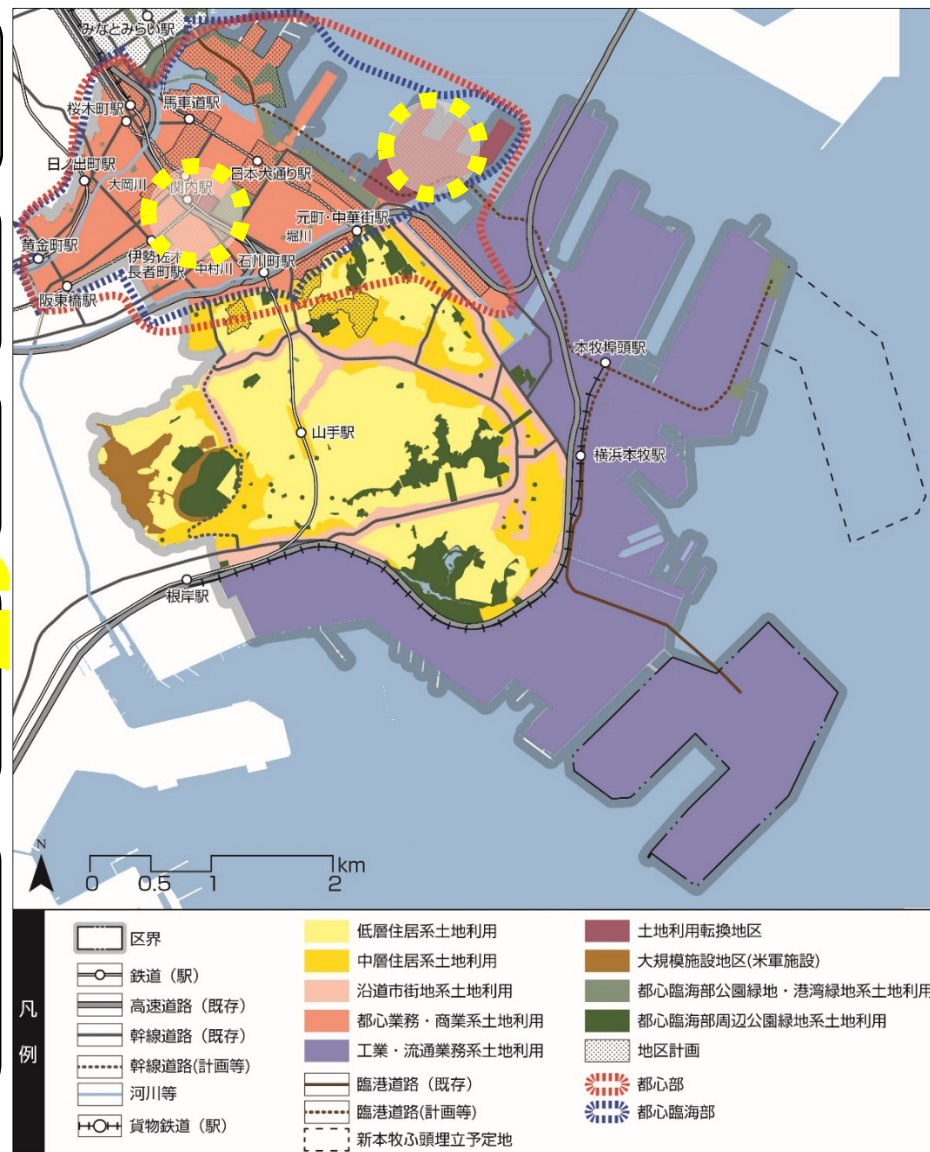
- ◎工業・流通業務系土地利用
- 国際競争力のある港の実現に向けた港湾・物流機能の強化

## 転換

- ◎土地利用転換地区
- 新たなにぎわいの拠点形成
- ◎大規模施設地区（米軍施設）
- 跡地利用を検討

## 緑地

- ◎都心臨海部公園緑地・港湾緑地系土地利用
- ◎都心臨海部周辺公園緑地系土地利用
- 貴重な緑として維持・保全



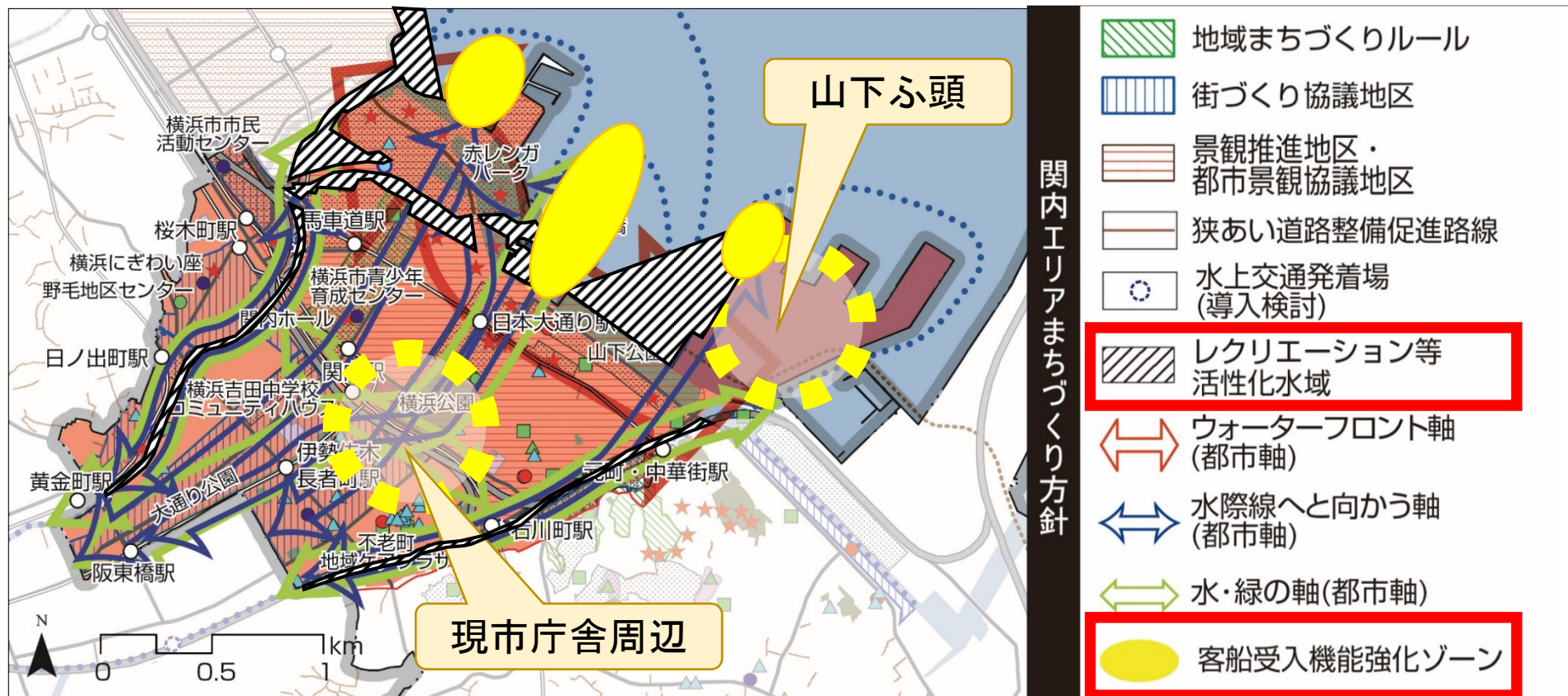
# ■ エリア別方針（関内・関外エリア） 1/2 改定素案 P. 85～91

◎ 都心臨海部における都心機能の強化や拠点整備・魅力的な街並みの形成

◎ 人々の交流や回遊性を促すにぎわいのあるまちづくり

◎ 働きやすく、暮らしやすいまちづくり

◎ 安全・安心な生活環境、災害に強い環境の形成



◎ 関内駅周辺地区のまちづくり

《現市庁舎街区》

「国際的な産学連携」、「観光・集客」

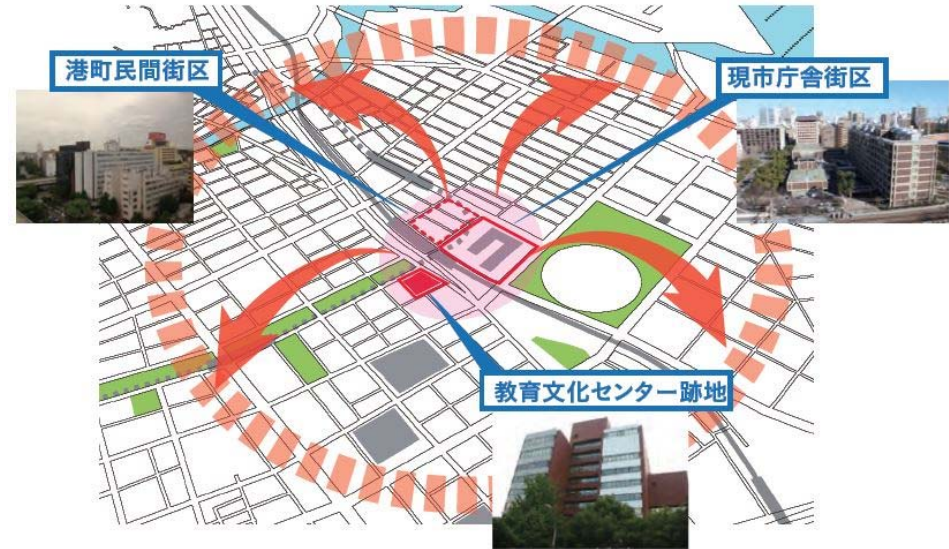
を目指した新たなまちづくり

《港町民間街区》

《教育文化センター跡地》

⇒ 学校法人関東学院

《横浜文化体育館》 ⇒ 再整備中



ゲートウェイとなる関内駅周辺地区のイメージ図

◎ 山下ふ頭のまちづくり

— 世界が注目し、横浜が目的地となる

都心臨海部にふさわしい新たな魅力

の創出による「ハーバーリゾートの形成」

（山下ふ頭開発基本計画（平成27年9月策定） 抜粋）



山下ふ頭マスタープラン

目標

誰もが安心して住み続けられる快適な環境のあるまち

◎誰もが安心して暮らせるまちづくり

◎多文化共生のまちづくり

—外国人市民の生活支援、学習支援  
及び国際交流の拠点として「なか国  
際交流ラウンジ」を活用



「なか国際交流ラウンジ」

◎高齢者及び障害者が暮らしやすい  
環境づくり

—老人福祉施設、障害者施設等の  
整備、活用及び機能強化



中区障害者支援拠点「みはらしポンテ」

◎子育てしやすい環境づくり

**目標** 区民や事業者の地域活動への参加促進、地域と事業者の交流・連携、区民の活動の場づくりを進め、人々が繋がり活気あるまち

◎ 人と人がつながる環境づくり

- 外国人も含めた多様な人々の地域コミュニティの参加に向けた環境づくり
- 空き家、空き店舗などのストックを利用しやすい仕組みづくり
- 身近な生涯学習や地域活動や交流の場づくり



◎ 地域活動を支援する情報発信の充実

来日したばかりの児童生徒やその保護者への支援のための日本語支援拠点施設「ひまわり」

◎ 協働で進める暮らしやすい地域社会づくり



野毛地区の防犯パトロールの様子

目標

区民、来街者、就業者などが安全で安心して暮らせる災害に強いまち

◎地震や地震火災等に強いまちづくり

－狭あい道路の拡幅、建築物の  
不燃化・耐震化 等

◎水害や土砂災害に強いまちづくり

－雨水排水施設の整備・更新 等

◎災害に強い体制づくり

－行政、事業者、鉄道事業者などが  
一体となった帰宅困難者対策の強化



木造住宅が密集する地域における防災まち歩きの様子



帰宅困難者対策訓練の様子(関内駅前)

**目標** 安全・安心な歩行者空間づくりのほか、既存の公共交通の利便性の向上や多彩な交通の充実など、誰もが快適に移動できるまち

◎ 誰もが安全に安心して移動できる環境の整備

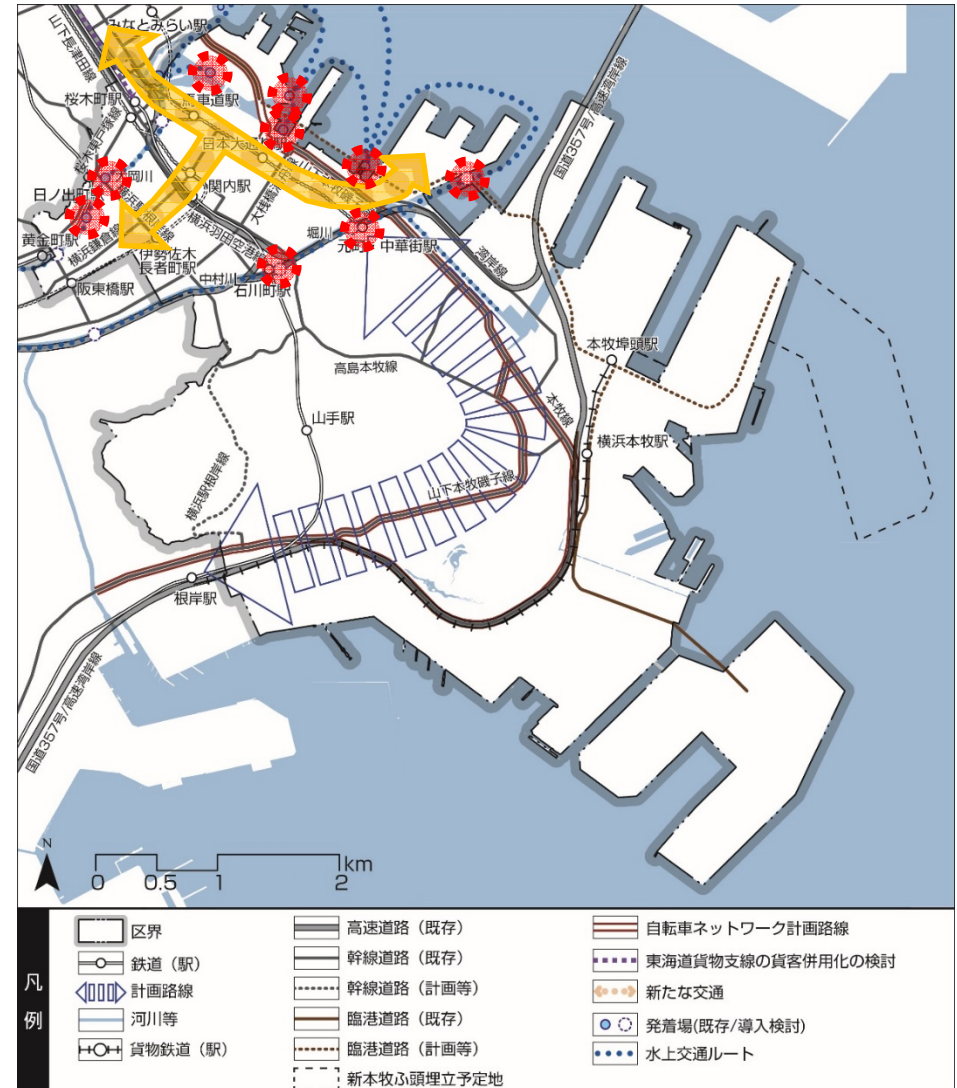
- 河川を活かしたプロムナードの形成
- コミュニティサイクルポートの整備

◎ 誰もが効率的に移動できるきめ細かい交通システムの充実と回遊性の向上

◎ 中区の資源を活かした多彩な交通の充実

- 水上交通等の拠点となる棧橋等の整備
- 新たな交通による都心臨海部の利便性・回遊性の向上

◎ 広域的な交通ネットワークの充実





**目標** 個性豊かな街並み、商店街、歴史的資源、文化芸術、スポーツなどを活用し、国内外から人や企業が集う魅力・活力にあふれるまち

◎歴史的資源を生かした  
まちづくりの推進

－歴史的建造物などの維持、保全及び活用

◎良好で個性豊かな街並み  
・商店街の形成

－個性豊かな商店街の主体的な取組の支援

◎花・緑・水を生かしたまちづくり  
－道路や駅前広場等における花や緑  
による潤いのある空間づくり

◎文化芸術創造都市の推進

－アーティスト・クリエイターの創造性の発揮によるにぎわいづくり



山手の歴史的資源のひとつである「外交官の家」



チューリップで彩られる横浜公園

**目標** 個性豊かな街並み、商店街、歴史的資源、文化芸術、スポーツなどを活用し、国内外から人や企業が集う魅力・活力にあふれるまち

◎観光・MICE

- 案内サインの多言語化、Free Wi-Fi環境整備、トイレ整備等による受入れ環境の充実

◎未来を創る都市づくり

- 「国際的な産学連携」・「観光・集客」の実現を目指した、関内・関外地区の活性化の核となるような関内駅周辺地区における新たなまちづくり
- ハーバーリゾートの形成を目指した山下ふ頭の再開発
- 新港ふ頭客船ターミナルなどの客船の受入機能の強化

